

佐栄建設事業協同組合 『第15回通常総会』 開催



総会

2018年5月11日(金)、当社の中核的専門業者で組織されている佐栄建設事業協同組合の第15回通常総会が、東武ホテルシバント東京において開催されました。総会には組合員数95名のうち委任状出席を含め75名が出席。廣井理事長(広井建設社長)の議事進行のもと、平成29年度決算、平成30年度事業計画・予算、役員選挙などが審議・承認されました。当社からは来賓として宮本社長、宮澤土木事業企画部長、庄子建築事業企画部長が出席し、祝辞や挨拶を述べました。



廣井理事長

廣井理事長 挨拶(要約)

皆様、ご苦労さまでございます。本日は遠方より、第15回通常総会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。また、日頃より当組合活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、佐藤工業の幹部の皆様も、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。このたび、通常総会も15回目を迎えました。これもひとえに、組合が設立されてから、協力会社の方々がしっかりと佐藤工業を盛り上げてきたという長い歴史と伝統があったからだと思っております。しかし、事業活動は近年停滞しております。事業協同組合の活動を見直す時期になったのではないのでしょうか。組合員のみなさまの意見を聞きながら、今後のあり方、方向性を検討していきたいと考えております。我々組合員は、佐藤工業の歴史と伝統の中で育ってきました。これからも山積する大きな課題に対応する術をご指導いただければと思います。本日は、1年に1度の総会です。よろしくご審議をお願いいたします。

宮本社長 祝辞(要約)

国内経済は、個人消費や設備投資が持ち直し、企業活動と雇用情勢については着実に改善しています。このような中、日本全体の生産年齢人口の減少に加え、今後団塊世代の大量離職も見込まれており、建設業界においては担い手の確保が危ぶまれています。防災・減災やインフラの維持・更新等の役割を今後も果たし続けていくためにも、「働き方改革」は待ったなしの必要性に迫られています。当社では昨年「週二閉所実現部会」を発足、今年3月には『週二閉所アクションプログラム』を策定し、2022年4月から全ての作業所で週二日閉所を実現していきます。また4月から運用が開始された『建設キャリアアップシステム』も積極的に導入していきますので、併せてご理解・ご協力をお願いします。今期の安全成績については、現在まで休業4日以上災害が8件と昨年同期より増加しています。死亡・重大・公衆災害ゼロはもちろん、災害総件数を減らす努力が、安全・安心の確保に加え働く人の処遇改善にも繋がるものと信じています。

「安全は一人ひとりが責任者」である自覚をもって、日々の安全衛生活動を推進してください。



宮本社長

< 議案 >

- 第1号議案 平成29年度決算関係書類承認の件
- 第2号議案 平成30年度事業計画並びに収支予算及び経費の賦課金徴収方法決定の件
- 第3号議案 借入金残高の最高限度決定の件
- 第4号議案 1組合員に対する貸付金残高及び債務保証残高の最高限度決定の件
- 第5号議案 手数料、貸付利息及び保証料の最高限度決定の件
- 第6号議案 役員報酬決定の件
- 第7号議案 役員選挙の件

各議案は原案通り満場一致で可決決定を致しました。

新役員 紹介



新役員の皆さん、左から廣井理事長(広井建設)、松本副理事長(松本建設)、佐藤専務理事、山中常任理事(山中建設)、五十嵐常任理事(三浦組)、熊谷理事(丸正誠伸興業)、海野理事(菱和建設)、高島理事(北新建設)、山崎理事(山崎組)、堀内理事(ホリウチ)、大関理事(阪神左官工業)、末沢理事(末沢建設)、明石理事(明石建設)、越本理事(九藤建設)、高橋監事(三峯工業)、浜本監事。



宮澤土木事業企画部長

宮澤土木事業企画部長 挨拶(要約)

今期は単独・スポンサー工事が増え受注は順調に推移しています。昨年に続き長大トンネルである北海道新幹線の内浦トンネルも受注し、「トンネルの佐藤」という位置づけを継続できていると考えています。計画から完了に至るまで皆さんと一致協力して、高品質で顧客満足度の高いモノづくりに貢献したいと考えますので、変わらぬご支援をお願いします。安全に関して、災害総件数は前期に比べて多くなっています。事故の削減に向け、現場パトロール等を通して一人ひとりに声をかけて注意喚起をお願いします。『働き方改革』については、建設業の担い手確保の観点からも強化していく必要があります。当社は、平成33年度中に週二日閉所を実現すべく、今年度は、第2土曜日を閉所するように各支店へ通達を出しています。いろいろな面で問題もあるかと思いますが、建設業界全体のために着実に推進していきますので、ご協力をお願いします。



庄子建築事業企画部長

庄子建築事業企画部長 挨拶(要約)

「高い収益力と人材を合わせ持つ組織」を本部長方針として今期取り組み、受注・完工・粗利とも、ほぼ計画通りとなっています。しかし、ここ数年瑕疵補修費が増えており、施工品質管理に引き続き取り組んでいきます。建設業界のキーワードとなっている生産性向上・働き方改革について、建築では「生産性向上委員会」において週二閉所実現のための具体的取り組みを確認。「工場生産の促進」「ロボット、機械力の活用」、「優良な職長の確保と育成」、「歩掛アップへの取組」、「協力会社からの提案褒賞制度の導入」「システム型枠、先組の促進」などですが、これらの取り組みは、皆さんの協力なしには成し遂げられないことばかりです。今後4年間かけて実施していきますが、実現には多くの困難が予想されます。建設業界全体、そして当社を始め当組合の存続をかけた取り組みとの認識を共有していただき、皆さんのご協力をお願いします。



松本副理事長

松本副理事長の閉会の辞により、第15回通常総会は、滞りなく終了いたしました。